

会議議事録（要旨）

会議の名称	令和3年度 第1回鳥取市地域福祉推進委員会 ・鳥取市地域福祉活動計画作成委員会
開催日時	令和3年7月28日（水）10:00～12:00
開催場所	鳥取市役所本庁舎6階 第5～第8会議室
出席者氏名	別紙（委員名簿）
欠席者氏名	山根恒委員
事務局職員氏名	竹間福祉部長、梶課長、岸本主幹（以上、鳥取市福祉部地域福祉課）、川口所長（以上、鳥取市総務部人権政策局人権推進課中央人権福祉センター）、田中地域福祉課長、宮崎主幹（以上、鳥取市社会福祉協議会事務局）
会議次第	<p>1 開 会</p> <p>2 福祉部長あいさつ</p> <p>3 委員自己紹介</p> <p>4 委員長及び副委員長の選任について</p> <p>5 委員長及び副委員長あいさつ</p> <p>6 議 事</p> <p>（1）スケジュールについて</p> <p>（2）取り扱う各計画の概要について</p> <p>ア 地域福祉計画・地域福祉活動計画</p> <p>（ア）地域福祉計画・地域福祉活動計画の概要</p> <p>（イ）鳥取市地域福祉推進計画の進捗状況</p> <p>イ 重層的支援体制整備事業実施計画</p> <p>ウ 地方再犯防止推進計画</p> <p>（3）数字から見る鳥取市の地域福祉の現状と課題に関する意見交換について</p> <p>（4）その他</p> <p>7 閉 会</p>
配付資料	<p>資料1 鳥取市地域福祉推進委員会設置要綱・鳥取市地域福祉活動計画作成委員会設置要綱</p> <p>資料2 委員会スケジュール</p> <p>資料3 地域共生社会実現に向けた地域福祉の推進～鳥取市地域福祉推進計画が目指すもの～</p> <p>資料4 令和2年度の実施状況と来年度の取組</p> <p>資料5 重層的支援体制整備事業実施計画について</p> <p>資料6 地方再犯防止推進計画の概要</p> <p>資料7 数字で見る鳥取市の状況</p> <p>その他 次第、委員名簿、座席表</p>
その他	関係機関出席

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開会、挨拶</li> <li>・福祉部長挨拶</li> <li>・委員自己紹介、そのほかの出席者紹介</li> <li>・委員長・副委員長選出（会長 片山委員、副会長 金谷委員）</li> <li>・委員長・副委員長挨拶</li> </ul>
片山委員長（進行）	・議事（1）スケジュールについて、説明を願いたい。
事務局	・資料2説明
片山委員長（進行）	・質問等あれば伺いたい。
C委員	・スケジュールの真ん中にございます令和4年2月の社会福祉審議会、これは社会福祉法に定められた地方社会福祉審議会であろうと思いますが、大体何回ぐらいに審議を予定されていますか。2月に1回しか書いていませんがそのあたりをご説明いただけたらと思います。
事務局	・社会福祉審議会につきましては、今年の12月に素案について市民政策コメントを実施する際に併せて、審議会の委員には示させていただけるようにしております、それを踏まえた上で、ご意見をいただくというふうに考えておりますので、1回で協議していただくということで予定しております。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月だけしか書いてないけれども、審議会へは事前に素案を示すとのことで十分に、審議会にはやはりそれなりのご審議というものを願いますということになるかと思えます。</li> <li>・我々もそのつもりで、この議論をし、審議会の方でもしっかり議論していただけるような、形を取っていただければ、ありがたいなと思えますが、私個人の意見があってしまうかもしれませんが、それが本来の社会福祉審議会のあり方ではなかろうかと思えます。いかがでしょうか。</li> </ul>
事務局	・そのようなご理解で結構でございます。
片山委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他にはございますでしょうか。よろしいですか。</li> <li>・続きまして、議事2「取り扱う各計画の概要について」事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り扱う各計画について説明</li> <li>・地域福祉計画及び地域福祉活動計画の概要については、竹川委員に説明を依頼</li> </ul>
竹川委員	・資料3説明
片山委員長（進行）	・質問等あれば伺いたい。

議事内容（要旨）	
M委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私どもの活動で、今大きな、直面しておるのが、コロナで集まることが出来ない、コミュニティも散々たる始末。この計画の重点施策の中の1丁目1番地、地区を単位にするネットワークの確立の中で、地域がするというところの地域組織の有り方の検討という事が書いてある。実は私どものところでは、自治会の加入率が実質的には5割ちょっとぐらいかなと思っております。その中でこの組織のあり方これからどうやっていくのか、どうやって担い手を作っていくのか。今はいわゆる社会福祉関係者でやってきて、そこも限界がきている。そうなるこここの自治会の組織をしっかりとしないと、先ほどのまちづくり、ここで協力をしていかないといけない。私どものところはまだ、まちづくりに連携がとれている。まちづくりはしっかりしているが、共生ができていくかというとなかなか出来ていない。それから縦割りになってしまっているところがある。そこは大きな課題です。国も縦割りが問題だという、地域も縦割りが問題だという。それから地域組織も弱体ではなく、崩壊に近いくらいに弱っている。この社会的状況のコロナの中でもネットワーク、地域福祉は大変だなと思いつつやっています。その辺でもう少しいい知恵があったら教えてほしいです。</li> </ul>
竹川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M委員の言われていることは、この計画の本質に関わる部分の問題提起と受けとめられます。今の地域組織のあり方っていうのは、実は行政各部門にぶら下がっているいろんな地域の役職があって、その数が10、20、30とかです。それらが、それぞれもう機能不全を起こしつつあるんですよ。この委員会でも検討したんですけど、1回そういうのはぱっぱとしていき、地域の負担を減らしながら新しい組織を作っていく必要があるんじゃないか。その時にやはり地域に福祉機能を持った団体が2～3乱立するのではなくて、一つの団体組織にその機能を集中させたほうがいいのではないかと。そういう議論をしていました。その時に一つはポイントになったのが、包含型・連携型というふうなパターンを示しめしていますけども、まちづくり協議会の中に新たな福祉ネットワークを位置づけるべきか、或いはそれとは別に、その福祉機能を高めていくようなそういう専門機関があるか、いろんな議論がありました。これはさすがにこの計画の中で、一律に決められるものでない。それは地域の実状があるし、また旧市区と新市区とで実状が違います。そういったところも含めて、それぞれの地域が新しい地域組織のあり方を検討する為のモデル事業を実施すべきというふうな問題提起しました。</li> <li>・南部町ではもうすでにモデル事業のフレームを作って、まさにこういう福祉の縦割りをなくして行って、地域振興協議会という組織になり、そこに福祉機能を一元化して行って、機能を高めていこうというモデル事業がスタートしたわけです。そういうふうな手法を鳥取市でもとられると、一歩でも二歩でも前に進めるのではないかなというふうに私自身は思っております。</li> </ul>
片山委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M委員よろしいでしょうか。</li> <li>・まさにこういう問題がたくさんあるんだろうと思いますので、これから皆さ</li> </ul>

	<p>んと議論をしていきたいと思います。他にはございますか。</p>
<p>H委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私どもは、病院を二つ持っておりますので、今の医療は2025グランドデザインという厚労省が示した医療の仕組みを変えていくという流れの中で従来の病気を治療するということから、いかに生活復帰させるのかっていうところにシフトチェンジをして、入院当初からのアプローチをするっていう流れになっています。いろんなことがあります、お家に帰るにはどうするのかってことが病院にとっては非常に大きな課題になっています。私たちもケースワーカーや臨床心理士等々、たくさんのスタッフで、様々な退院相談をさせていただきます。その過程で、一人暮らしの方、それから家族はいるけども、引きこもりの家族だったり、統合失調症等ある家族であったり、在宅に戻れない患者さんをどうするのかと。中にはゴミ屋敷のような家に戻すとかってなったところで、様々な住民組織の方であるとか民生委員の方であり、市社協の方のご援助をいただきながら在宅を支えていく取組みを行っています。</li> <li>・質問といいますのは、医療機関がこのネットワークの中で、どういう役割を發揮するのかというところについての位置付けがちょっと不鮮明かなと。最終、多くの高齢者の方や地域の人たちは、一度は医療機関に何らかの形で関わって入院されることが多いですし、高齢者の方は、特に頻繁にそういう形で入院されてきます。退院されるときに、いろいろなことが顕在化する例が多いのではないかと。そういったときに、その問題を集中的に解決しなければならないっていうような事例が多々、私たちの方に報告が上がってきます。そういったときにこの地域の中での医療機関の役割、社会資源としてはかなり大きな資源としてあるのではないかと思っているのですが、その辺の位置付けをご示唆いただければと。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
竹川委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には医療法人の方もこれからはとてもこの地域共生社会においては、必要な資源と考えております。皆さんピンとこられてないところがあるので、ちょっと解説しておきたいのですけれども、まずこれからは地域で出会い・学びのプラットフォームを作っていこうとする動きがあります。鳥取市の計画で言えば、地区を単位にするネットワークがあって、そのネットワークとさらに関連する地域の専門職、事業所が連携しながら、例えば子ども食堂や空き家を活用した世代交流の拠点とかというふうに例が出ています。地域共生に資する活動の場を作っていこうとしているわけですね。こういう機能を高めていくために私は専門職の役割がすごく大きいと思っていまして、専門職と地域住民が一緒になって新たな社会資源、地域の資源を作っていくことはこれからも重要なアプローチだというふうに思っています。となると、ここに医療法人さんが当然入ってこないといけない。入ってきて何ができるだろうか。例えば、認知症・高齢者等、地域の見守りとか或いは認知症の方でも地域でいろんな役割が果たせる可能性があります。障がいをお持ちの方でも地域で役割を担えるものがありますけど、地域住民だけでは、そういう場を作れないでしょう。そういうところで、非常に重要になってくるのがプロです。プロがそこに一つ手を加えることによって認知症の方が地域の活動に出かけられる。障がいをお持ちの方、難病をお持ちの方が地域の活動に出かけて、何かあった時に専門職のサポートが受けられる。そういう仕組みがちゃんと位置付いていれば、地域の人達がじゃあやってみようよっていうふうに言えるかもしれませんし、専門職の方から、地域の方にこういう提案をしてみるとかってことも出来る。さらに介護予防ですね住民が集まる場、例えば常設型のサロンを、これから地区が作られるとかその中でプログラムとして介護予防活動、健康づくりの活動に医療生協さんがどんどん出て行って、今も出ていかれますよね。そういう取組みを全市的にうめていくそういうことが出来る。だから、こういうプラットフォームに参加をしていただきたいということになるので、この計画でも、非常に貴重な戦力だと私は思います。</li> </ul>
片山委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の関係がありますので、次に進めていきたい。皆さんの方から何かご質問等がありましたら、また鳥取市のほうから質問状のようなものをお送りさせていただきますので、その中に書いていただいたらというふうに思いますので、次に進めたいと思います。</li> <li>・議事が前後しますが、続きまして、「重層的支援体制整備事業実施計画」について事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料5説明</li> </ul>
片山委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続きまして、「鳥取市地域福祉推進計画の進捗状況」を事務局から説明をお願いします。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料4説明</li> </ul>
片山委員長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・続きまして、「地方再犯防止推進計画」について事務局から説明をお願いします。</li> </ul>

議事内容（要旨）	
事務局	・資料6説明
片山委員長（進行）	・続きまして、議事（3）の「数字から見る鳥取市の地域福祉の現状と課題に関する意見交換について」事務局から説明をお願いします。
事務局	・資料7説明
片山委員長（進行）	・委員の皆様からご質問等はまとめてということで宜しくお願いをしたいと 思います。質問等につきましては、メールとか文章でお願いします。 ・議事（4）その他について、何かあれば説明願いたい。
事務局	・今後の予定説明
片山委員長（進行）	・予定の議事が終了したので、閉会としたい。
事務局	・閉会